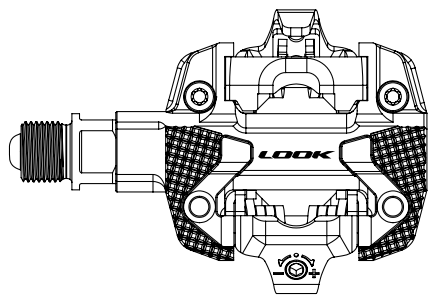
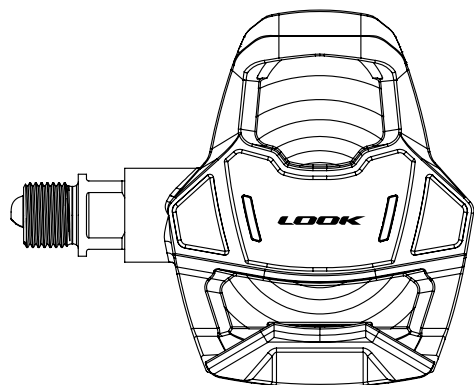


マニュアル _____

Xトラックパワー



ケオブレードパワー

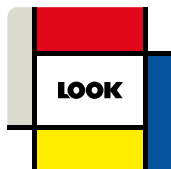


日本語

おめでとうございます!

おめでとうございます。
あなたは LOOKパワー ペダルのオーナーです!
このユーザー・マニュアルには、ケオブレードパワー&
Xトラックパワーペダルの詳しい使用方法が記載されて
います。

LOOK CYCLEアプリでペダルを直接登録するこ
とをお忘れなく。



または弊社ウェブサイトWWW.LOOKCYCLE.
COM(アシスタンス/保証/保証フォームの登録セク
ションの下)。

特典:

-LOOKパワーセンサーの3年間保証(ご購入日より)。

-転倒時の部品交換プログラム「コンフィデンス・コント
ラクト」を優先的に利用できる。

-カスタマーサービス、保証サービス、返品に簡単にアク
セスできます。

-製品に関する独占情報(ファームウェアのアップデー
ト、新機能など)を事前に入手できます。

! 意点:ペダルを取り付ける前に、このインストレ
ーションガイドをよくお読みください。LOOKパ
ワーペダルは、次のような用途には使用しないでくだ
さい。

適合クリートが付いていない一般的なシューズで使う
と、足が滑ればコントロールを失い、重傷を負い、死に
至ることがあります。

LOOKパワーペダルは、体重120kgまでのサイク
リストが使用できるように設計、最適化されていま
す。ペダルの取り付けに疑問がある場合は、正規販
売店に連絡するか、www.lookcycle.comのサブ
ポートページを参照することをお勧めします。

ケオブレードパワー

ブレードパワーペダルに推奨さ
れているLOOK ケオクリートの
みをご使用ください。



ケオグリップ

Xトラックパワー

Xトラックパワーペダルに推奨
されているLOOK Xトラックク
リートのみをご使用ください。



Xトラッククリート

オーバーシューズを使用する際は、ペダルの使用(
クリートのステップイン・アウト)を妨げないように
してください。

LOOKパワーペダルの取り付けを誤ると、製品保証
の対象外となる破損や重大な怪我、死亡事故につ
ながる場合があります。道路に出る前に、時間をか
けて新しいペダルに慣れてください。ペダルの着脱
は、まず静止した状態で練習し、次に安全な走行環
境で練習してください。

セット内容

	ブレード・パワー・シングル	ブレード・パワー・デュアル	Xトラック・パワー・シングル	Xトラック・パワー・デュアル
パワーセンサー付きペダル	左	左/右	左	左/右
ペダルセンサー非装着ペダル	右		右	
ケオ・グリップ・クリート グレー(ペア)	1	1		
Xトラッククリート(ペア)			1	1
充電器	1	2	1	2
USB C充電ケーブル	1	1(Yケーブル)	1	1(Yケーブル)

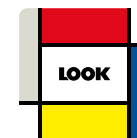
インストール

01 申請書をダウンロードする

LOOKCYCLEアプリをダウンロードし、アプリ内の指示に従ってLOOKパワーペダルを登録してください。



Download on the App Store



GET IT ON Google Play

02 プロフィールを完成させてください

A / プロファイル情報を入力し、後のインストール手順を簡略化します。

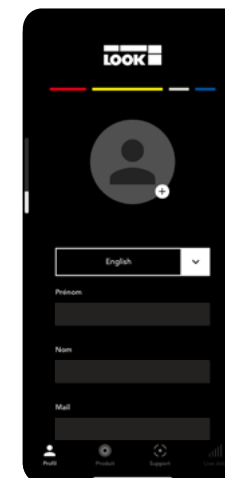
B / 自転車のプロフィールを作成し、クランクの長さを指定します。

一度入力すれば、再度入力する必要はありません。この情報は、製品の校正時に自動的に転送されるため、時間を節約できます。

注意点:
複数のバイクプロフィールを作成し、プロフィールごとに異なるクランクアーム長を入力できます。

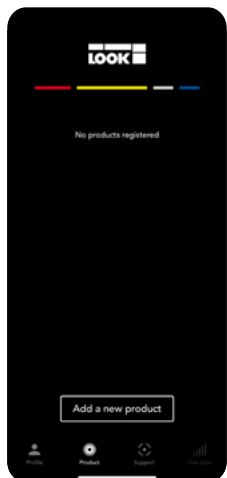
クランクアームの長さはどこで確認できますか？

この情報は、ほとんどの場合、クランクセットのクランクアームの内側、ペダルの近くに記載されています。



03 パワーセンサーを追加する。

アプリケーションで、パワーセンサーを製品エコシステムに追加します。



注意点：

LOOK POWERペダルは、初期起動後、5分間使用しないと自動的に「ライト」スリープモードに切り替わります。クランクの回転など、何らかの動きを感知すると自動的にオンになります。

注意点：

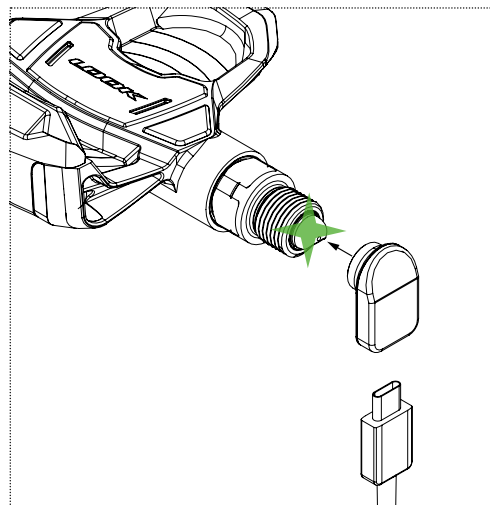
アプリケーションを使用して、「エキスパートモード」タブでペダルを「ディープスリープ」モードに戻すことができます（エキスパートモードの段落を参照してください）。

04 ペダルの取り付け。

LOOK POWERペダルは、バッテリーを節約するために「ディープスリープ」モードでお届けします。

A / 数秒間充電すると起動し、点滅が始まります。

初回使用前にペダルをフル充電することをお勧めします。フル充電には約2時間かかります。



	オン	オフ
ディープスリープ	アプリ	ペダル充電中
ライトスリープ	使用停止5分後	動きの感知

B / ペダルをクランク・アームに取り付ける前に、ペダルのネジ山に軽くグリスを塗ってください。そうすることで、締め付けがより効果的になり、クランクへの固着を防ぎます。

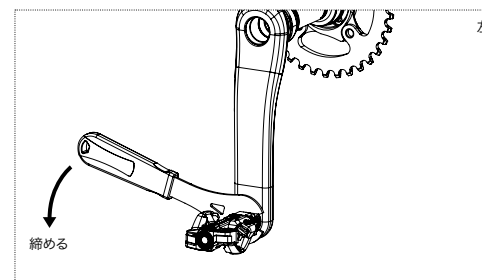
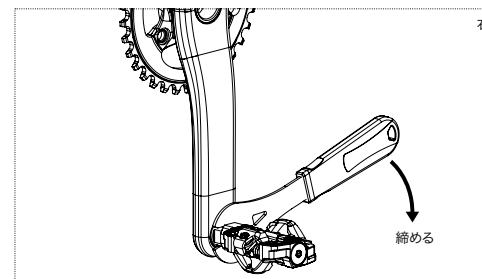
C / 30~40Nmのトルクでペダルを締めます。

注意点：

30Nmは、15kgの力を20cmのレバー（プロ用でないペダルレンチの大きさ）で加えた力に相当します。

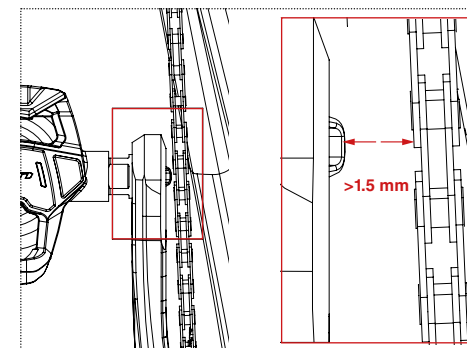
ペダル取り付け：

- 右ペダルの場合、時計回り（ペダルに向かって）。
- 左ペダルの場合、反時計回り（ペダルに向かって）。

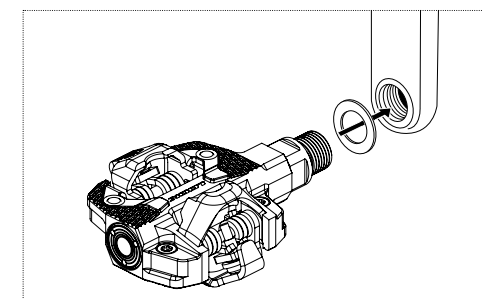


D / ペダルを取り付けた後、チェーンを一番大きなチェーンリングとカセットの一番小さなギアにセットします。

右ペダルのプラスチック・キャップが、上部でも下部でもチェーンに触れないようにします。チェーンとペダルアンテナの間隔は**1.5 mm**を推奨します。



必要であれば、ペダルとクランクアームの間に**1mm**のスペーサーを追加してもよい。



05 ペダルを接続します。



ペダルとアプリケーションをペアリングする。

ペダルがスリープモードに戻っている場合は、両方のペダルのLEDインジケーターが点灯するまで、クランクを後方に回します。

06 保証登録をします。

アプリケーションによる保証登録は1分で完了します。

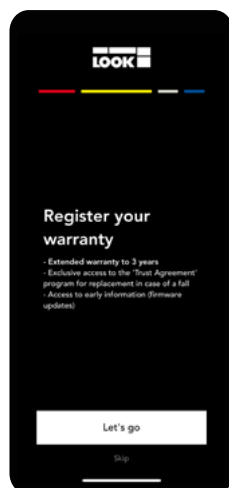
アクセスできるのは：

LOOK POWERパワーセンサーの3年間保証(ご購入日より)。

転倒時の代替品として「コンフィデンス・コントラクト」プログラムを優先的に利用できる。

カスタマーサービス、保証サービス、返品に簡単にアクセスできます。

製品に関する独占情報(ファームウェアのアップデート、新機能など)を事前に入手することができます。



注意点：

デュアルバージョンの場合、左ペダルがメイン・ペダル、右ペダルが第2ペダルとなります。デュアルバージョンの場合は、'メイン'ペダルをペアリングするだけです。セカンダリー'ペダルは表示されません。

シングルバージョンでは、左ペダルのみがインストール化され、表示される。

07 パワーセンサーを設定する。

A / アプリケーションにクランクアームの長さを入力してください。

B / アプリケーションを使用してキャリブレーションを開始します。

-自転車直立の状態にします。

-クランクアームをタテに(垂直の位置に)します。

-キャリブレーション中はペダルを動かさないでください。

注意点：

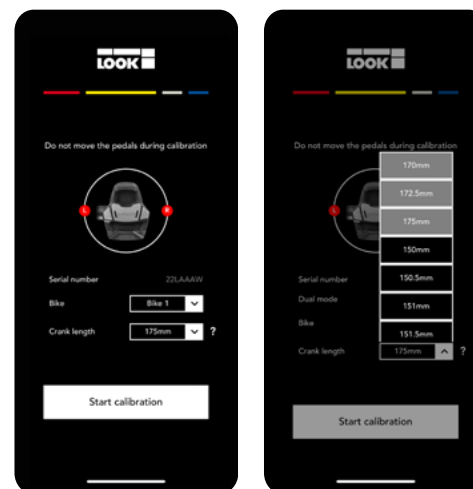
この情報がすでにプロフィールに入力されている場合は、関連するフィールドに自動的に表示されません。

クランクアームの長さはどこで確認できますか？

この情報は、ほとんどの場合、クランクセットのクランクアームの内側、ペダルの近くに記載されています。

08 クリートを取り付け

クリート取り付け」の項を参照。



09 サイクルコンピュータに接続する。

パワーセンサーの接続方法については、サイクルコンピュータまたは時計の取扱説明書を参照してください。

A / ペダルをサイクルコンピュータに接続します。ペダルが接続されたら、以下の手順に従ってください：

B / クランクアームの長さをコンピューター/時計で設定します(コンピューター/時計のマニュアルを参照してください)。

注意: 入力された値が、アプリケーションで指定した値と一致していることを確認してください。

C / センサーのカリブレーション(‘ゼロオフセット’)を行う。

注意点:

すべてのサイクルコンピュータ/時計がパワーセンサーに対応しているわけではありません。コンピュータ/時計のマニュアルをご参照ください。

すべてのANT+対応デバイスでは、パワーセンサーはペダルのANT+識別子に対応する5桁の数字として接続画面に表示されます。ペダルのANT+識別子は、箱または箱内のステッカーに記載されています。デュアルバージョンの場合は、"メイン"ペダルをペアリングするだけです。第2ペダルは表示されません。

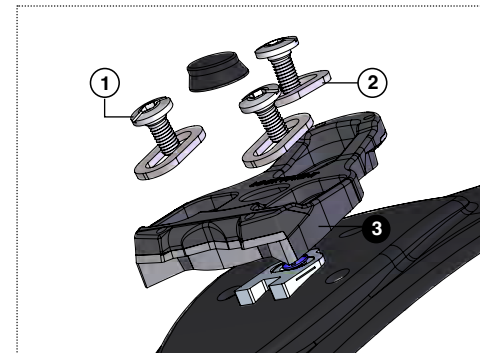
ルッククリート取り付け

Keo クリート取り付け

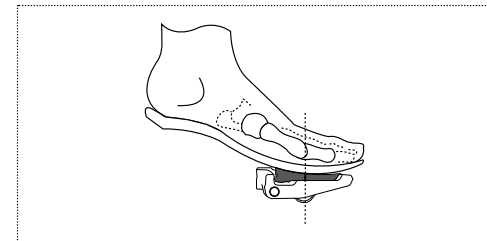
! **注意:** 使用前に、クリートが靴底にしっかりと締め付けられていることを確認してください。

ネジを使ってシューズの下にクリートを取り付けます。

(1) とワッシャー (2) は、クリートと共に提供(または推奨)されます。クリート・マーク (3) は、クリートの位置決め役に立ちます(次の段落を参照)。



中足骨の関節の軸は、足と拇指球間の関節の中心にあります。



ステップ3: 上記のようにクリートの位置が決まったら、ワッシャーを入れ、ネジ山にグリースを塗りネジを締めます。4mmの六角レンチで締めます。締め付けトルクは、シューズメーカーの推奨を守り、5Nm以上とする。

ステップ4: ペダルに足を入れ、自転車で数メートル走ります。かかとがベースに触れたり、片側の足首や膝に負担がかかっていると感じたら、クリート位置を変えてください。違和感を感じなくなるまで、この作業を繰り返します。

ステップ5: クリートが完全に調整されたら、締め付けトルクをチェックします(シューズメーカーが推奨するトルクに準拠し、5Nm以上)。

クリート調整

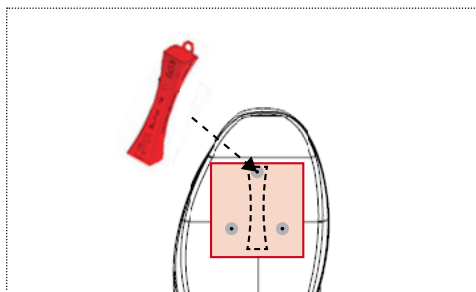
ステップ1: 横方向のクリートの位置決め: クリートはできるだけシューズの中央(ソールの取り付け穴がクリートウインドウの中央にくるように)に置きます。

ステップ2: 縦方向(前後方向)のクリート位置決め。大多数の専門家は、クリート(3)のマーク(ペダルの軸を表す)は、中足骨関節の下に位置すべきだと考えています: 上図参照。

! **注意:** 道路に出る前に、クリップレスペダルの使い方を確認してください。

静止した状態でペダルを踏み込んだり外したりする練習を何度か行い、停車時など足を下ろさなければならぬ状況のイメージトレーニングも行なってください。

1 - 曲率半径: LOOKクリートは、シューズとの接触部の曲率半径が**150mm**です。このクリートを使用するシューズのソールの曲率半径が同じであることが重要です。ソールの曲率半径が異なると、固定したクリートが変形し、固定が不十分になることがあります。事前に正規販売店にて靴底の曲率を工具で確認し、検証してください。曲率半径は150mmを推奨します。**170mm**を超える曲率の低い靴底には、**KEO SPACER**のご使用をお勧めします。

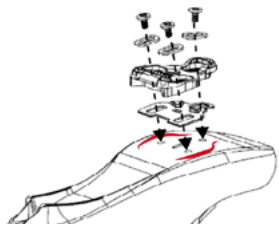
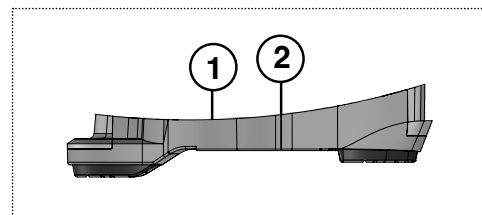


		ソール曲率	スペーサー
アウトソール	カーブ	155	スペーサー不要
	↓	170	スペーサー不要
		185	スペーサー必要
	フラット	200	スペーサー必要



湾曲が合わない、クリート形状が歪み、ペダルとクリートの間に遊びが生じて性能が発揮できません。クリートが摩耗すると正しく機能しなくなる可能性があり、ステップアウトできない場合や怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

2 - ペダル軸マーカ: このマーカは、ペダル軸の位置を示します。



KEO スペーサー

テンション調整

ブレードパワーペダルのテンションは、ペダルの下にあるカーボンブレードによって決まります。これを変更するには、ウェブサイト www.lookcycle.com または LOOK 正規販売店で、異なる硬さのカーボンブレードを入手することができます。図と部品参照番号については、スペアパーツの章を参照してください。

Xトラッククリート取り付け

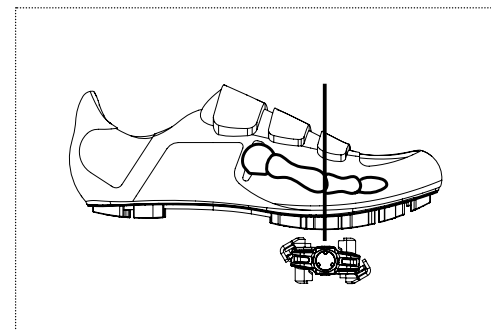
仕様

クリートは、**SPD**規格を使用するすべてのシューズと互換性があります。左右の固定方法は厳密に同じですが(左右同じクリート)、推奨される方向に従う必要があります(クリートの取り付けセクションを参照)。

クリート取り付け

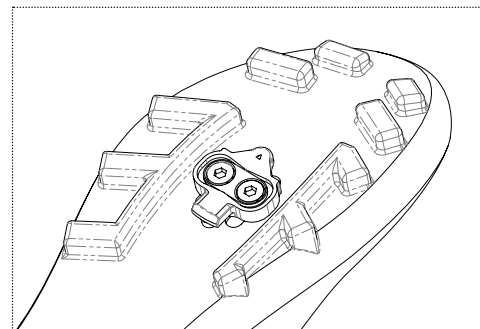
クリートを取り付ける前に、シューズの取扱説明書を参照してください。クリートには表面と裏面があることに注意してください。図Aを参照してください。

B / 縦方向の位置決め



中足骨の関節の軸は、足と拇指球間の関節の中心にあります。

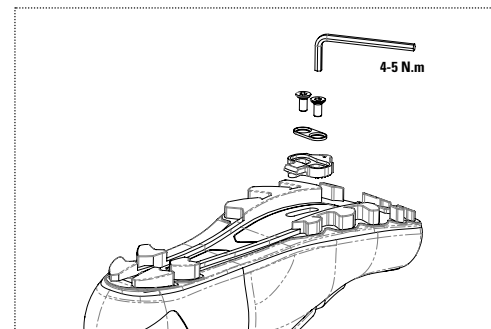
A / クリートの取り付け方向



横方向への位置決め: クリートを2列のクリートの間に完全に位置させる。

縦方向の位置決め: 最も効率的に調整するためには、クリートスクリューを中足骨関節の下に位置させることが推奨されます。図Bを参照。

C / クリート取り付け



ソールとクリートの接点が汚れていないことを確認し、必要であれば湿らせた布で拭いてください。

ネジにグリスを塗り、状態の良い**4mm**六角レンチを使用して**4~5Nm**のトルクで締め付ける。

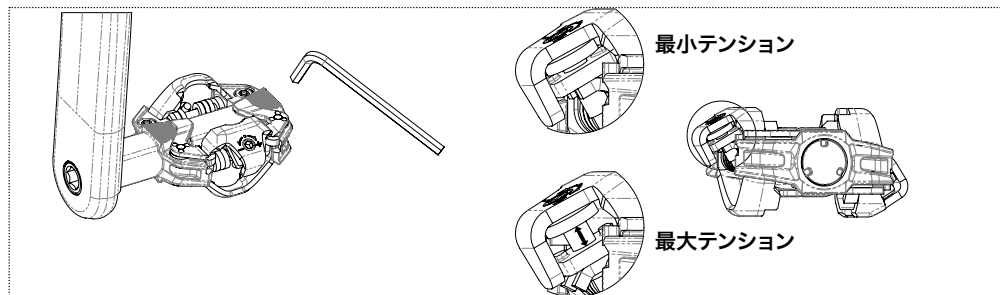
ペダルに足を入れ、自転車数メートル走る。かかとがベースに触れたり、足首や膝に負担がかかりすぎていると感じたら、クリート位置を変えてください。違和感がなければ、クリートは正しくセットされています。何度かクリートを動かす必要があるかもしれません。

LOOK クリート以外は使わないでください。
それ以外のクリートを 사용하면、故障や死亡に至る重大な事故につながる可能性があります。
使用する前に、クリートがシューズにしっかりと締め付けられていることを確認してください。クリートは、クリート付属のネジのみを使用して、靴底の下に取り付けてください。特にカーボンソールを使用している場合は、クリートがずれていないか定期的に確認してください。
足の形は人によって異なります。ペダル上での足の動きも同様です。サビネーション（足の外側が内側より低い状態）やプロネーション（足の内側が外側より低い状態）でのペダリングは、ペダル、アクスル、クリートの早期摩耗を引き起こし、脱着時のストレスの原因となります。これは故障や死亡に至る重大な事故につながる可能性があります。取り付け位置を確認し、必要な修正を行うために、専門家に相談することをお勧めします。

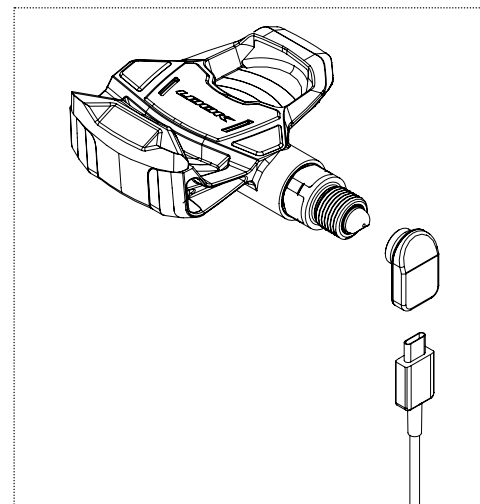
テンション調整

LOOK X-TRACKペダルは、最小テンションにプリセットされた状態でお届けします。調整はペダル後部で、3mmのアレンキーを使って行います。
キーを+方向(時計回り)に回すと、クリートを外すのに必要な力が増します。カチッと音がすることで、使用する調整ノッチの数をうまくコントロールできます。システムに完全に慣れるまで、テンションは最小のままにしておきましょう。

クリートがペダルに噛み合っているときは、調整はできません。締め付けが固くなると、まもなく最大調整量に達します。この抵抗に達したら、ペダルを損傷する危険を避けるため、締め付けを中止してください。



バッテリーと充電



初めて使用する前に、ペダルをフル充電することをお勧めします。フル充電には約2時間かかります。
充電前に、ペダルと充電器の接点が汚れていないことを確認してください。
充電器の突起がペダルの接触面に触れるように、充電器を正しい向きにセットしてください。
LEDインジケーターが点滅し、ペダルが充電中であることを示します。LEDの色（赤、オレンジ、緑）は充電状態を示し、ペダルが完全に充電されると緑色の点滅が止まります。
バッテリー残量は走行中にサイクルコンピューターやスポーツウォッチに送信され、ペダルのバッテリー残量が少なくなると（残量約20%）アラートが表示されます。LOOKアプリでバッテリー残量を確認することもできます。
初期のバッテリー駆動時間（最大60時間使用可能）は、時間の経過とともに徐々に短くなります。
LOOK社による厳密なテストによると、通常の条件下では、300回のフル充電を行ってもバッテリー容量の減少は20%未満です。これは、週15時間の使用で約15年間使用した場合に相当します。なお、バッテリーは交換できません。

バッテリーの寿命を最大限に延ばすには、以下の点に注意してください。
・ペダルは気温が安定した室内で保管してください。温度変化が繰り返されると、バッテリーの容量が低下します。寒冷地や極端な高温下での屋外保管、夏場に高温になる部屋での保管は避けてください。
・大幅な容量低下を避けるため、バッテリーは完全に放電しないよう設計されています。充電レベルが限界に達すると、バッテリーを保護するためにペダルが「ディープスリープ」に入り、充電すると再起動します。少なくとも月に一度は充電レベルをチェックするようにしてください。この充電器は、市販されているほとんどのクランク（シマノ、スラム、カンパニョーロ、ローターなど）に対応しています。マウンテンバイクなどで使用されるクランクカバーが、充電器に干渉する場合がありますのでご注意ください。

LEDカラーチャート

カラーチャート

充電中	(< 30%)	— — —
	(< 60%)	— — —
	(< 100%)	— — —
充電済み		— — —
起動		— — —
起動しペアリング待ち		— — — —
ペアリング中		— — —
ペアリング済み&ペダル間で通信中	5秒ごと	—
充電レベル低	10秒ごと	— — —
ファームウェア・アップデートの準備完了		— — — — —
ファームウェア・アップデート中		— — — — —
ファームウェアのアップデートに失敗		— — — — —

パワー検出精度

通常の使用条件では、ペダルの測定精度は工場出荷時の基準に対して $\pm 1\%$ です。ペダルの包括的なコンピューターモデルを開発し、ペダルシステムを介した計測データがパワー値へと変換されるプロセスを研究しました。このモデルは実験データを用いて検証され、高い精度を達成しています。最大限の精度を確保するため、以下の手順に従ってください。

・ペダルはクランクに30~40 Nmのトルクで締め付けてください。ペダルを30 Nm未満で締め付けると、パワー測定の精度が低下します。また、40 Nm以上で締め付けると、ペダルやクランクのネジ山を損傷することがあります。

・クランク長が、使用する自転車に基づいてサイクルコンピューターやスポーツウォッチに正しく入力されていることを確認してください。アプリケーション側で設定された値は、コンピューターやウォッチ側で入力された値によって上書きされます。値が2.5 mm大きくなると（例えば、実際のクランクが170 mmなのに172.5 mmと設定した場合）、パワー値が1.5%過大に算出されます。

・ペダルを自転車に取り付けた直後は、ペダルをクランクにしっかりと馴染ませるために、短いスプリントを数回（1~3回、各3~5秒）行ってください。これによりペダルのゼロ点が変わるため、このスプリントの後にペダルを再校正（キャリブレーション）することが重要です。毎回の乗車前にこのスプリントを行う必要はありませんが、ペダル取り付け後には必ず1回行ってください。

・ペダルのキャリブレーションは、毎回の走行前にサイクルコンピューターで行う必要があります。ゼロ点は非常に安定していますが、走行前に正しい状態であることを確認することが重要です。このキャリブレーションを省略すると、 $\pm 2\%$ の測定誤差が生じることがあります。

・ペダルを別の自転車に載せ替えた場合は、一度スリープモードにするか、LOOKアプリから「取り付け角度」をリセットしてください。ペダルは起動するたびに自動的に取り付け角度を検出します。別の自転車に載せ替えた後、ペダルがスリープモードに入らなければ、この角度は再計算されず、パワー関連のデータは不正確になります。また、載せ替え後は数回のスプリントと再キャリブレーションを行うことも忘れないでください。異なるパワーセンサーによって測定されたパワーデータの整合性は、多くの要因に左右されます。

・パワーセンサーのタイプ：「脚に近い位置」にあるセンサー（ペダル、クランク）は、「駆動系の下流（低い位置）」にあるセンサー（ボトムブラケット、ハブ）よりも物理的に高いパワーを測定します。これは、自転車のコンポーネントを介する際にわずかなパワーロスが生じるためです。機械的パワーはペダルで最も大きく発生・測定され、クランク、スパイダー、チェーン、カセット、ハブ、トレーナーの順に減少します。

・使用環境や構造的条件：例えばクランクの中には、ねじれ（チェーンリングにトルクを伝えるのではなく、クランク自体をひねる力）の影響を強く受けるものがあります。クランクセットに取り付けられたパワーセンサーも、使用するチェーンリングによってわずかなねじり力を受けることがあるため、同様の影響が生じる可能性があります。このような力が測定装置で考慮（計算）されていないと、パワーの過大評価や過小評価につながります。ペダルの場合、主に影響を受けるのはペダル上で荷重を受けるポイント（パワー伝達に関わる「Qファクター」）によるものです。LOOKペダルは、この影響による誤差を受けないよう設計されていますが、他のセンサーでは大きな影響を受ける可能性があります。

・ゼロオフセットの調整：パワーセンサーの校正は、はかりの「風袋引き」と同じように機能します。つまり、力が加わっていないときにセンサーが読み取った値を基準として記録します。しかしこの値は、ペダルの締め付けトルク、温度、チェーンリングボルトの締め付けトルク（およびその締め付け順序）など、さまざまな要因によって変化します。2つのパワーセンサーを比較する場合、この「ゼロ点」のわずかなズレが互いに反対方向へ動くと、パワー測定値に乖離が生じ、それぞれのセンサーが持つ公称精度の2倍以上の差になることがあります。この校正誤差による乖離は、低パワー時ほど顕著に現れ、高パワーになるほど（割合としての影響は）小さくなります。

実際の環境では、信頼できるブランドの「信頼できる」パワーセンサー間で $\pm 2.5\%$ のばらつきが観察されることは珍しくありません。これらの理由から、同じタイプのパワーセンサーを使用し、可能であれば同じデバイスでトレーニングすることをお勧めします。そうすることで、長期間にわたって最も安定したデータを得ることができ、これが、私たちがバイクから別のバイクへ簡単に移行できるパワーメーターペダルの開発に注力した理由の1つです。

ソフトウェア・アップデート

LOOKチームは、お客様に最高の体験をお届けするため、ペダルのファームウェアを定期的にアップデートしています。ペダルをアップデートすることで、最新のパフォーマンスや操作性の向上、バグ修正の恩恵を受けることができます。アップデートは、LOOKアプリからBluetooth経由で行うことができます。

接続すると、アプリがペダルの新しいファームウェア・バージョンを通知します。

ルックパワーペダルのメンテナンス

ペダルの定期的なメンテナンスは、安全を確保し、最適な製品寿命を確保するために非常に重要です。メンテナンスが不十分なペダルは、不具合や故障を引き起こし、使用中にコントロールを失い、重傷を負ったり死に至ることもあります。

剤と水で洗い、研磨剤の入っていない布で乾拭きしてください。

ドライヤーなどの熱源からペダルを遠ざけてください。取り返しが付かない損傷を与える恐れがあります。

走行前には必ず、ペダルとクリートが汚れておらず、正しく機能していることを確認してください。摩耗したクリートは、ペダルから不意に外れ、転倒の原因となることがあります。クリートはLOOKクリートのみを使用してください。

ペダルに穴を開けたり、ペンキを塗ったり、ニスを塗ったりしないでください。

ペダルを水に浸けたり、高圧洗浄にかけたりしないでください。ペダルのクリーニングは石鹼または中性洗

技術仕様

Général	
ペダル重量 (ペア、デュアルセンサー)	265g (ブレードパワー) 405g (Xトラックパワー)
クリート互換性	Keo / SPD
MTBでの使用	OK (Xトラックパワーのみ)
スタック	10.8mm (ブレードパワー) 10.7mm (Xトラックパワー)
Qファクター	53mm
クリートテンション範囲	16 Nm (ブレードパワー) 12 と 20 (スペアパーツとして入手可能) 3-14Nm (Xトラックパワー)
ベアリング	1x ニードルベアリング ボールベアリング 1 個 (アウトボード)
最大ライダー体重	120kg
防水・防塵	IPX7
保証	3年間
動作温度	-15°C ~ 50°C

パワー測定

測定精度	+/- 1%
ケイデンス範囲	30 - 180 rpm
自動角度キャリブレーション	あり(起動時)
オートゼロ	あり
マニュアルゼロ	はい
L/Rバランス	あり
温度調整	あり
ジャイロスコープベースのケイデンス	あり
防水・防塵	あり
角速度からパワーを計算(楕円チェーンリングやホームトレーナーで正確な計測が可能)	はい
クランク長	140mm - 180mm

バッテリー

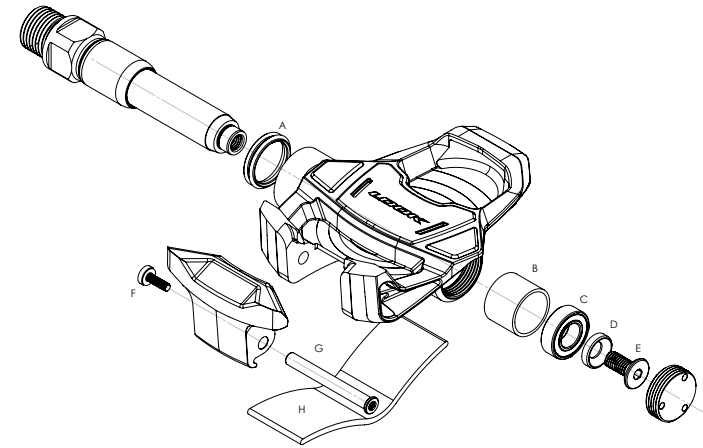
バッテリータイプ	リチウムポリマー、充電式
バッテリー容量	140mAh
バッテリー持続時間 - 使用時	60時間
バッテリー持続時間 - スリープモード時	6ヶ月
バッテリー持続時間 - ディープスリープ時	> 12ヶ月以上
充電時間	2時間(空の場合)
低バッテリー警告	あり
バッテリー	耐久性 フルサイクル300回充電後の容量低下が20%以下
バッテリー充電温度範囲	10°C~35°C

ソフトウェアの特徴

ウェイクアップ	ペダルの回転を開始
ソフトウェアの更新	はい、LOOKアプリで
ユーザーが変更可能なスケールファクター	あり、L/R別
ANT+対応	対応
ブルートゥース・スマート対応	対応

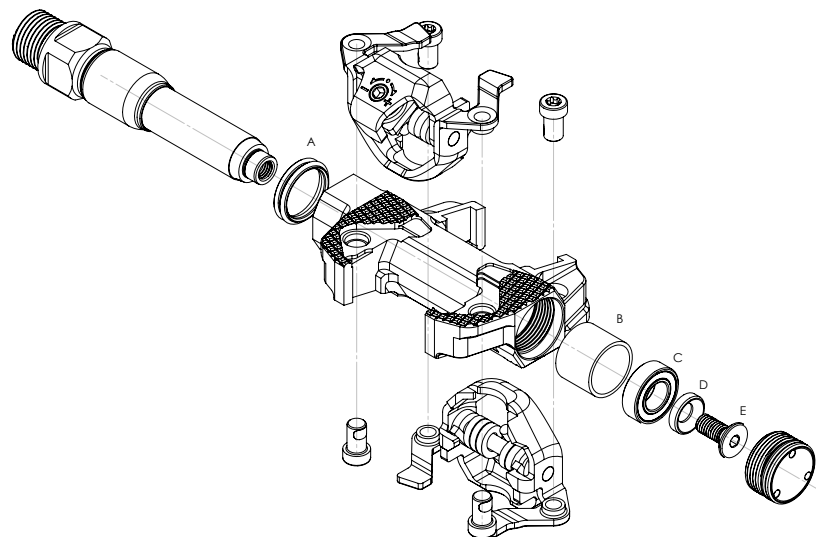
スペアパーツ

ブレードパワー



29010	左センサー付き・パワーアクスル	1 x センサー付きアクスル / 1 x 内部デュアルリブシール
29009	右センサー付き・パワーアクスル	1 x センサー付きアクスル / 1 x 内部デュアルリブシール
29011	右センサーなしパワーアクスル	1 x センサーなしアクスル / 1 x 内部デュアルリブシール
29015	ケオブレードパワー 左ボディ	ボディ×1 / レバー×1 / ブレード×1 / エンドキャップ×1 / ニードルベアリング×1 / シールドキャリッジベアリング×1 / デュアルリブシール(内部)×1 / スピンドルスクリュー×1
29016	ケオブレードパワー ライトボディ	ボディ×1 / レバー×1 / ブレード×1 / エンドキャップ×1 / ニードルベアリング×1 / シールドキャリッジベアリング×1 / デュアルリブシール(内部)×1 / スピンドルスクリュー×1
29020	パワーベアリングリフレッシュキット	2 x ニードルベアリング / 2 x シールドキャリッジベアリング / 1 x スピンドルスクリュー左 / 1 x スピンドルスクリュー右
29012	ブレード・パワー12キット	2 x ブレード / 2 x レバーアクセル / 1 x リムーバルツール
29013	ブレード・パワー16キット	2 x ブレード / 2 x レバーアクセル / 1 x リムーバルツール
29014	ブレード・パワー20キット	2 x ブレード / 2 x レバーアクセル / 1 x リムーバルツール
29021	パワーチャージャー	1 x 充電器
29022	USB Cケーブル	1 x ケーブル USB C Y
29073	USB Cケーブル	1 x リムーバルツール

X-トラックパワー



29010	左センサー付きパワーアクスル	1 x センサー付きアクスル / 1 x 内部デュアルリップシール
29009	右センサー付きパワーアクスル	1 x センサー付きアクスル / 1 x 内部デュアルリップシール
29011	右センサーなしパワーアクスル	1 x センサーなしアクスル / 1 x 内部デュアルリップシール
29017	Xトラックパワー左ボディ	1 x ボディー / 1 x レバー / 1 x ブレード / 1 x エンドキャップ / 1 x ニードルベアリング / 1 x シールドキャリッジベアリング / 1 x デュアルリップシール (内部および外部) / 1 x スピンドルスクリュー
29018	Xトラックパワー右ボディ	1 x ボディー / 1 x レバー / 1 x ブレード / 1 x エンドキャップ / 1 x ニードルベアリング / 1 x シールドキャリッジベアリング / 1 x デュアルリップシール (内部および外部) / 1 x スピンドルスクリュー
29020		
29021	パワーベアリングリフレッシュキット	2 x ニードルベアリング / 2 x シールドキャリッジベアリング / 1 x スピンドルスクリュー左 / 1 x スピンドルスクリュー右
29022		
29073	パワーチャージャー	1 x 充電器
	USB Cケーブル	1 x ケーブル USB C Y
	パワーエンドキャップ取外し工具	1 x リムーバルツール

保証

法的保証:

LOOKは、製品を購入された国の承認された代理店および販売店を通じて、購入日から数えて5年間、不適合および隠れた欠陥(1)に対してバイク/フレームを保証します。

(1) 隠れた瑕疵はフランス法のみが対象とする。§ 民法第1641条から第1649条まで。

(2) 国または州によっては、暗黙の保証についてより高い期間の制限、および/または直接損害もしくは派生的損害の除外もしくは制限を認めている場合があります。この場合は制限が適用されないことを意味します。この制限付き保証は、特定の法的権利をお客様に付与するものですが、場合によってはその他の権利も付与することがあり、これらの権利は現地の法律により異なります。

適合宣言

FCCコンプライアンス声明

同封のハードウェアデバイスは、FCC のパート 15 に準拠しています。

運転には以下の2つの条件がある:

(1) 本装置は有害な干渉を引き起こす可能性はありません。

(2) 受信した干渉は、望ましくない干渉を引き起こす可能性のある干渉も含めて、すべて受け入れなければなりません。

オペレーションを行う。

本装置は、FCC 規則パート 15 に従い、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠することがテストにより確認されています。これらの制限は、住宅設備において有害な干渉から適切に保護することを目的としています。本装置は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信妨害を引き起こす場合は、本機器の電源を切ったり入れたりすることで判断できます。

以下の1つ以上の手段によって:

- 1/ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変える。
 - 2/ 機器と受信機の距離を離す。
 - 3/ 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
 - 4/ ディーラーまたは経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。
- 継続的な準拠を保証するために、準拠に責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、この機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。(例: コンピュータや周辺機器に接続する場合は、シールド付きインターフェイスケーブルのみを使用してください。)

注意! 製造者は、本機器への無許可の改造によって引き起こされるラジオやテレビの妨害について責任を負いません。そのような改造は、本機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。